

授業中の様子

子供たちのほとんどは、コンピュータの授業を遊びの時間のように思っているようです。走ってはいけぬ廊下をダッシュでやってきます。しかし、はじめと終わりの挨拶、説明を聞くときの態度は、いつも通りきちんと…しないと先に進ませません。

<どンドン話が進化します>

「読書」の時間に下書きをしっかりと書いてきているにもかかわらず、絵を描いているうちに…、文章を打っているうちに…どンドン内容が変わってくる子もいました。読書の先生は「せっかく下書きを書いたのだから」と、忠実に書くように勧めるのですが……。

<みんな大満足!>

子供たちのほとんどが絵を描くのが大好きで、一枚一枚を描くこと自体を楽しんでいました。中には、絵を描くのが苦手だとか、不器用だからなあと言う子もいます。そんな子には、特別にいろいろな効果の操作法を教えてあげます。そうすると、それを見た周りの子達が、「すごーい! きれい!!」などと言って、その子にやり方を聞きにきます。「失敗した!!」と叫ぶ子もいます。きれいな直線を書きたがる子もいます。そのたびに「ちょっと曲がっていたほうが、味があっていいぞ!! ねえ!!」と周りの子の同意を求めます。そうするとみんな「本当だ〜」「なかなかいいよ」と答えが返ってきます。どの子も大満足です。

<かっこいい!!>

文字の入力を始めると、「すげえ!!」「かっこいい!!」とつぶやく子がいました。なにかと、覗き込んでみると何のことはない、ただ文字を打っているだけでした。それがかっこいいのです。

自分の文章が、活字になるとそれだけで大喜びです。

基本的にひらがな入力をしていたのですが、中にはローマ字入力をする子もいました。みんなの憧れの的でした。



武蔵野東小って、どんな学校?

武蔵野東学園は東京都武蔵野市を基点とした私立の学校です。2つの幼稚園と、小学校、中学校、技能高等専修学校、そしてアメリカ・マサチューセッツ州ボストンのボストン東スクールからなる総合学園です。

健全な子どもたちと、全校児童生徒の約三分の一にあたる自閉的な傾向を持つ子どもたちと共に学ぶ「混合教育」が行われています。(ボストン校は自閉的傾向の子のみです)

詳しくは

<http://www.musashino-higashi.org/>

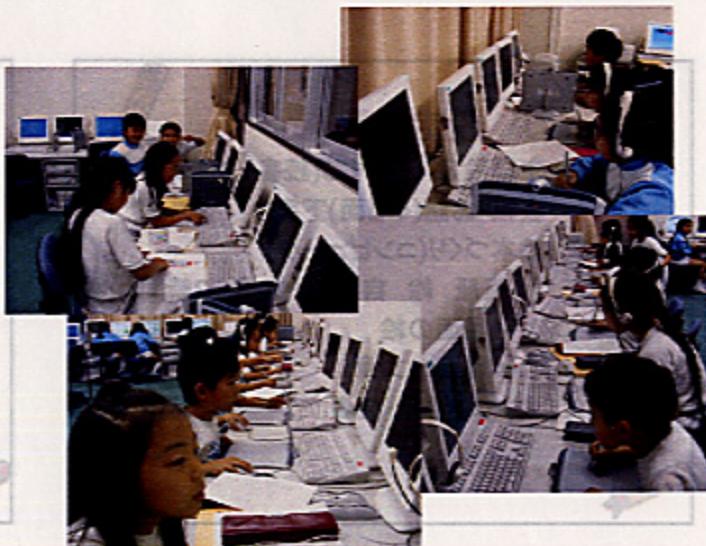
武蔵野東小の情報教育は?

コンピュータの活用は、カセットテープでピーガーやのような時代からやっていたそうです。本格的に行われるようになってきたのは、やはりここ数年 (windows95が出たころから) です。

昨年度からはコンピュータ専科をおき、時間割にも「コンピュータ」が加わりました。2年生以上は、クラスを半分に分け、一方はコンピュータ、他方は英語という形で週1時間 (英語は他にもう1時間) 行っています。

もう1つの特徴的なものとして挙げられるのは、土曜日の自由登校日を中心に活動する。保護者有志約40名からなる「東小学校のコンピュータ教育を援助する委員会 (エンジョイ)」の存在です。

<http://www.musashino-higashi.org/sho-enjoy.htm>



(武蔵野東小学校 連絡先 higashi3@parkcity.ne.jp)
秋田個人 akitakun@nifty.com